



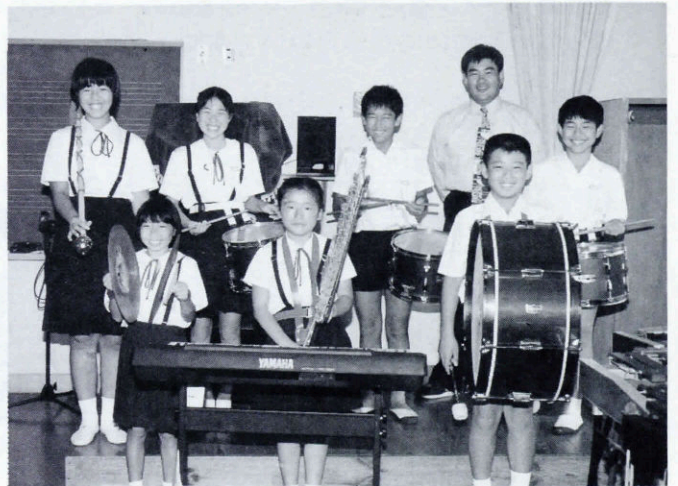
みんなの
ひろば

くらすめ～る

学級通信 川尻小学校6年

担任：三輪 和明先生
児童：7名

輝け
北斗七星



川尻小学校の六年生は、今年の四月から、一人増えて七人になりました。一人一人が個性豊かな子どもたちですが、それでいて、とても仲がよく結束力のある子どもたちです。目下、今年の運動会の鼓笛パレードに向けて、猛特訓中です。朝や帰りの会の時間になると、大太鼓や小太鼓、シンバルやベルリラなどの音が教室中に響きわたります。全校児童五十一人の演奏のリズムをリードするのですから、

六年生の責任は重大なのです。お互いの音色を確かめながら、目の色を変えてがんばっています。音楽の得意な子どももそうでない子どもも……。また、川尻小学校の伝統である鯨唄でも、下級生のよい手本になろうと声を張り上げてがんばっています。これからも、いろいろなことに挑戦して、自慢できることをどんどん増やし、さらに輝く川尻小学校の北斗七星であってほしいものです。

歳時記

中秋

中秋といえば、名月を連想します。名月の句でよく知られているのは、なんといっても松尾芭蕉の名月や池をめぐりて夜もすがら

が
あり
ます。
名月を見上げていると、一句ひねってみたい気分になります。それと同時に思い出されるのは、一九六九年、アメリカのアポロ11号が月の「静かの海」に着陸し、人類が初めて月に降り立ったこと。いま、人類の夢は果てしなく宇宙へと広がっています。

陰暦では七月から九月の三か月が秋にあたり、その真ん中の八月を「中秋」と呼んでいました。陰暦八月十五日の中秋の名月は、新暦では九月にあたり、今年九月二十七日です。この時期は天候が比較的安定し、空気が澄み、また、夏の暑さが終わって、月を觀賞するのにふさわしい気候です。



さて、九月二十日は「空の日」、二十日からは三十日は「空の旬間」です。九月二十日は明治四十三年、わが国の飛行機が初めて空を飛んだ日。国際化時代の航空機の役割は大きくなっており、国内交通にも航空輸送は欠かせないものになっています。この旬間を機に、空港の整備や航空の安全などにも、関心をもちたいものです。

中国では、古くから、この日を中心として、月神やウサギの絵を飾り、月餅や枝豆を供えて宴を催します。日本では、ススキや十五団子、枝豆、イモなどを供える風習